

平成 25 年度 第 8 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 25 年 11 月 21 日 (火) 18:00~
- 場 所 : ひらかた環境ネットワーク会議 会議室 (サプリ村野新館)
- 出席者 : 井上、末岡、竹島、田中晃、田中靖、谷口、丸井
- 欠席者 : 伊丹、鎌田、豊高、上武
- 議 長 : 末岡 議事録作成 : 事務局(三橋)
- 配布資料 : 1. 第 8 回 運営委員会議事
2. 第 7 回 環境サポート部会議事録
3. 第 9 回 自然エネルギー部会議事録
4. 第 7 回 公共交通部会 議事録
5. バス!スタンプラリー報告書
6. 第 1 回中期経営プラン検討会議事録

1. 報告事項

<事務局報告>

(丸井)

① 第 1 回中期経営プラン策定検討会について

中期経営プランに盛り込む“今後の活動内容”について検討していくため、第 1 回目は主に活動の現状と課題を話し合った。議事録としてまとめたが目を通し、加筆修正等、意見があれば後日連絡していただきたい。

② エコチェック DAY の取り組みの進捗状況について

- ・ 11/1 からエコチェックシートの配布を開始。
- ・ 11/1, 2 は、外大祭でキャンペーンを実施。2 日間で計 415 枚回収。
(協力スタッフ: 西村、田中(靖)、金只、三橋、丸井)
- ・ 11/3 は、ごみ減量フェアで実施し 213 枚回収。
(協力スタッフ: 廣田、末岡、佐伯、田中(靖)、丸井)

- ・ 11/10 は、フォトラリーで実施し 61 枚回収。

・ 現在、市内の小中学校、幼稚園、保育所に教育委員会を通じて協力依頼を行っている。

・ 私立の幼稚園、保育所には郵送で協力を依頼し、反応も帰ってきている。

③ マスタープラン策定に向けた「まちづくりワークショップ」への参加について

- ・ 市からの要請で丸井が参加することの了解を得た。他にも参加していただきたいということで希望者を募ったが、申し出がなかったため経理担当の進藤氏に打診することで了解した。

→ 進藤氏の承諾は得られなかった

- ・ マスタープランに盛り込むべき内容として、各部会からの意見をわかりやすい文章で簡潔にまとめ提案できるようにしてはどうか。 → していく方向で確認・合意した。

④ エコキャップ

本日、エコキャップ 410 kg を処理業者に届けてきた。

<部会報告>

① 環境サポート部会

(谷口)

- くらわんか塾の路線変更について
初めて参加した人から、チラシからは講座内容がわからないという意見が出た。「枚方市環境副読本」に基づいた授業を行った方がいいという意見が出ている。また、S-EMSという名称がわかりにくいという事については、小さい字でもいいので説明を加えることで理解が得られると考えている。
→ 前回の運営委員会での「くらわんか塾」を「出前授業の担い手を育成する」ということに収斂するという話についてはどうなったのか。→まだ、検討中である。
- 「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」への応募について
部会ミーティングで、環境省による委託方式での実証事業である「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」に応募しようということになった。運営委員会です承いただけか。 → 応募は了承する。選考は厳しいと思われる。
- 出前授業謝金の寄付行為について
謝金を寄付するという形をとる事については、迂回融資に当たるという意見がある為、枚方税務署へ行き、法的見解を確認してこようと思う。
→ 迂回融資に当たるなどということはない。
→ 納得しないメンバーがいる。
→ 勝手に税務署に行くのはやめていただきたい。ネットワーク会議の税理士に相談すべき。
上記の結果、まずはネットワーク会議の税理士に相談することにし、併せて、謝金の振込先を個人でなく環境ネットワーク会議にしてもらうことはできないのかを、行政と話し合うことを確認した。

② 公共交通部会 (末岡)

- スタンプラリーについて
松村先生から、昨年度スタンプラリー参加者のその後について追跡調査を行ったところ「参加者のその後バス利用は増えている」という結果がでたとの報告があった。またNPOの公共交通への関わり方については、スタンプラリーのような形以外ないと思うという意見もいただいたので今後も継続していく。

③ 自然エネルギー部会 (井上)

- 第5回「枚方自然エネルギー活用スポット見学会」について
午前中見学をし、午後は意見交流をし、エコチェックシートの配布も行った。今年度の「ひらかた自然エネルギー学校」は5回行ったが、5回は少ししんどい。来年度からの講座について、その内容を検討・見直しをしていきたい。→ 環境講座担当者会議(12月10日)でこの件についても、話し合うことを確認した。
- ピコ水力の今後の進め方について
先日、関西外大の青木先生から、ピコ水力を見てのアドバイスをいただいた。再生可能エネルギーの先生で、枚方在职でもあるので今後も関係を継続していきたい。

④ まちづくり部会 (竹島)

- 11/2の天の川クリーンデーについて
初めて参加したが、ゴミが少なく驚いた。学校からの参加が多かった。
→このイベントの目的は環境ウォッチングとウォーキングである。名称も「天の川大清掃」

から「天の川クリーン&ウォーク」となり川べりを歩いて、ゴミを拾いながら、川や川辺に生息する貴重種を含む生き物や植物、また河川整備の実態を市民に知ってもらうことが現在の目的で、目的の重点は後者に置かれていることを担当者や市民も理解していない。大部分の人が清掃であると思っている。配布するゴミ袋がゴミになっている側面も否めない。

- フォトラリーについて

11/10に行った。雨天にも関わらず、多数の市民の参加があり、またスタッフとして沢山の方に協力していただいた。結果等については、次回の部会までに整理し報告する。

《上記報告の後以下の質疑応答があった》

→フォトラリーをやることで、どういう事を発信したいのか。当NPOとしての主旨をぶれないようにすることが重要である。

→それは、今後の検討課題とする。今回の実施形態は人手が多く必要であった。部会だけでできるような形にしたい。

→スタンプラリー形式は、スタンプを押す事に専念し、内容を見る人は少ないのではないか。それよりも、その場所に行かなくても、受付で話をしてコミュニケーションしたり説明したりしながら考えてもらうだけでも意味があるのではないか。

→今回スタンプポイントにいたが、話しかけてこられる方は割合多くコミュニケーションはとれたと思う。

→それをして、どうまちづくりにつなげていきたいのか。

→検討する。

- 菊人形について

取り扱いについて、部会としてまだ意見がまとまっていない。

2. 協議事項

① エコフォーラムについて

前回の運営委員会での決定を受け内容等詳細について話し合った。

(主な意見)

- ・ コーディネーターは検討中。
- ・ パネラーは、防災の方は自主防の人、環境の方は、ネットワーク会議から選ばばいいのではないか。
- ・ 枚方ではどういう自然災害がおこるのかみんなに認識してほしい。
- ・ 防災と環境保全の両輪でいく。
- ・ 来場者に満足感を与えるものとしたい。
- ・ ポスターについては、背景の色をもう少し薄くし、サブタイトルを削除する。
- ・ ビスコ缶は40個残っている。40人以上の場合は、じゃんけん大会で決める。

上記意見を踏まえ次回で決定する。

② 琵琶湖淀川流域圏連携交流会 (BY ネット) 会からの依頼について

BY ネットからエコフォーラムで「治水と環境(案)」をテーマにシンポジウムを開催させてもらいたいとの依頼が来ている。滋賀、京都、大阪と順次開催されており、京都は12月14日に行われる。 → 依頼を受け参加を了承した。

③ 10周年記念について

来年任意団体として設立してより10年目を迎える。10周年記念行事を行うかどうかについて話し合った。結果、下記のような形で行うことを確認した。

- 座談会を行い、会報誌に特集を組む
- 10年間の会報誌をDVDに焼いて配る。
- 記念パーティーを行う。(サプリ村野にて)

(主な意見)

- ・ 何か記念となることをすべきである。
- ・ 予算は、別枠ではなく、26年度予算に組みこむ。
- ・ 継続事業を発足する。
- ・ 記念として形あるものをつくる。
- ・ 活動をまとめる。
- ・ 会報誌をまとめてDVDをつくる。会報誌を振り返ると、本当によくわかる。
- ・ 一度DVDを作っておくとよい。2~3年は使える。新しく入ってきた人に渡せる。
- ・ 関わってきた人の気持ちを記録に残す意味で、「10年を振り返って」というテーマで座談会を行う。
- ・ 記念パーティーを行い、昔お世話になった人やいろいろな人に自由に来てもらう。
- ・ 場所は、ここで行う。80人くらいは入れる。

次回運営委員会

日 時：12月16日(月)18:00~20:00

場 所：環境ネットワーク会議 事務所